

新潟県議会議員

ほさか裕一 県政報告Vol.3

Yuichi Hosaka Prefectural government report 2022



加茂市・田上町の皆さまへ
地域の課題解決と要望実現のため、皆さまの声を県政に届けます！

豊かなふるさとを
誇れるふるさとの
次世代への架け橋

地域の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。大災害にも匹敵する新型コロナ感染症により、私たちの意識や生活様式が一変し、消費行動や経済活動も大きく変化しました。オミクロン株やその亜流株に十分な対策を取りつつも落ち込んだ経済活動を上昇気流に乗せて地域を創生していかなければなりません。「七谷地区に初めて観光バスが来た！」ことや「やさしい道の駅たがみ」の賑わいは、分散化社会において加茂・田上地域の魅力発信することでこの地域が選ばれる可能性を十二分に実感しました。地域の将来と活性化を皆さんと共に考え、精一杯活動してまいります。今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新潟県議会議員 ほさか裕一

質問内容及び知事や担当者の答弁をご紹介します。



令和3年6月定例会 一般質問より抜粋

デジタル社会へ向けた 取組について

①地方の中心商店街は地域コミュニティの多様な機能を支えている。機能の維持強化や来街者への情報発信は商店街の魅力アップ、賑わい創出につながる。地域商店街のWIFI整備に対する支援が必要と考えるが、知事の所見とともに本県の支援策の現状を伺う。

②マイナンバーカードの取得率向上のためには目のメリット、インセンティブも必要ではないかと考える。例えば新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ地域経済の活性化、消費の需要喚起を兼ねた取得サービスキャンペーンとして県民宿

泊割引キャンペーンの割引額を上乗せするとか、自治体が発行するプレミアム商品券にさらにプレミアム率を上乗せできるとか、抽選で県内の特産品がもらえるとか、メリットの付与を県の支援策として提案するが所見を伺う。

産業労働部長 総務管理部長

①商店街を整備されるWIFIは、商店街を訪れる方の利便性を高める一方、継続的な費用負担が発生することから、導入の効果や利用者ニーズを十分に検討した上、整備を進める必要があると考えるが、活用手法によっては、商店街の機能強化や、魅力アップの効果も期待できることから、県としては、商店街の創意工夫を奨励したいと取組を市町村と連携して進めたいと考えています。

②メリットの付与については、取得率の向上に寄与するものと考えており、県内市町村においても取組を行っている事例があることから、そのような取組の横展開を図るとともに、県としてもWIFIの付与について検討したいと考えています。

令和3年12月定例会 一般質問より抜粋

伝統産業について

①伝統的な製法や原材料により作られてきた工芸品の産地は、現代の生活様式の変化や天然原材料の減少など様々な要因により、企業数・従事者数ともに減少が続く状況が危ぶまれるほどの厳しい状況にあると認識している。本県における伝統的工芸品産業をめぐる現状の受け止めと振興策の必要性について、知事の認識を伺う。

②伝統的工芸品を将来に残していくためには、技術の継承者を育成していくことは喫緊の課題と考える。継承者の育成は、全国の産地でも共通かつ深刻な状況の中、他県でも共通養成を目的とする大学校や伝統工芸を学ぶことができる学校がいくつもある。伝統産業は地域経済の発展に資するとの観点から、本県においても農業大学校のような「工芸職人養成大学校」の設置を検討すべきと考えるが、所見を伺う。

③県内には、伝産法に指定はされていないもの古くから地域に伝わる歴史的な工芸品の産地も多数存在する。各地に点在するこれらの産地を線で結んだ観光ルートの開拓や、民間と連携した観光商品開発を行

地域医療について

①人口減少とともに患者数の減少が予想される中、病院運営の体力が衰弱しその結果、地域に必要な医療機能が失われていくことが懸念される。新型コロナウイルス感染症対応における課題や知見を踏まえ、本県医療の将来に向けた提供体制はどうかあるべきか知事の所見を伺う。

②新型コロナウイルス感染症の対応で、症状に併せて宿泊療養や個室対応が必要となり県立病院においても相当数の患者を受け入れたと側面するが、余剰ベッドや休止病棟により受け入れが可能なあつたと考えられる。今後、感染者が短期間で急増した場合を想定すると、病床稼働率の低下をダウンサイジングに結びつけるのは性急ではないかと考えるが、新たな感染症への対応を踏まえた、病床活用率の仕組み、考え方について所見を伺う。

③新型コロナウイルス対応も踏まえ、本県医療の将来に向けた提供体制については、地域の中核病院を中心に地域の内外の新型コロナウイルス患者を受け入れており、これらの対応状況から、医療資源が充実し、対応力の大い地域の中核病院の役割や圏域内外の連携の重要性を再認識したところである。また今後、

患者数の減少や医療ニーズの変化が予想される中、多くの病院が従来のように急性期機能を中心とした医療を提供し続けることで、病院経営の悪化を招き、場合によっては、いずれの病院も経営が困難となるなど、地域に必要な医療機能が失われる懸念もあると認識している。そのため、医師の働き方改革に対応しながら、地域に必要な医療を維持していくためには、医療資源の一定程度の集約化により、地域の中核病院の機能が充実・強化されることが重要であり、場合によっては、二次医療圏を越えて連携し、対応できる医療提供体制としていくべきであると考えている。

④新型コロナウイルス感染症対応では、休止病棟を利用するほか、感染症患者を一般患者の動線と分離し、院内感染を防止するための稼働病棟を空き病床にして感染症患者の受け入れを行うなど、柔軟に対応してきた。一方で、病床稼働率が低い場合にダウンサイジングをせずに余剰病床を残すことについては、医療従事者を確保できなければ病床として機能せず、病院経営に不効率が生じることも懸念される。県立病院に求められる役割を適切に果たすため、一般の医療と感染症対応のいずれにも、迅速かつ柔軟に対応していく。

知事 産業労働部長 観光局長

①本県は、全国有数の伝統的工芸品産地であり、長い歴史や風土に根ざした特色ある技術などを、大切な地域資源として守り、継承していくことが必要と認識している。さまざまな課題があることを踏まえ、産地の魅力や製品の付加価値を高めるため、関係機関と連携しながら、産地が取り組む新商品開発や人材育成等に、必要な支援を行っている。

②県では、国や関係機関と連携しながら、産地主導による研修会の開催や認定職業訓練校における職業訓練など、産地の実情も踏まえた支援を行っている。大学校の設置については、運営を含め費用対効果があると考えられるが、伝統的工芸品が地域を支える産業として次代に引き継がれるよう、産地のニーズに即した支援を考えている。

③地域に伝わる工芸品はストーリー、地域をもつた発信が可能であり、産地を組み込んだ観光ルートの開拓や商品開発により、周辺地域における経済活性化が期待できるものと考えている。関心を有する地元市町村や関係者と連携しながら、体験型コンテンツの開発や受入体制整備を支援すると、伝統的工芸品等を活用した観光振興に努めていきたいと考えている。

知事 子育て支援施設について

①子ども子育て分野は、仕事と育児の両立の難しさ、子どもの貧困や教育格差、少子化の進展など、さまざまな課題が存在する。困難を抱える子どもへの支援が受け落ちることの無いような体制の構築が図られるべきと考える。全国知事会が行った「アロード」フォーアリスト社会を構築するための緊急提言の内容に込められた知事の思いについて伺う。

②子育て支援施設は、仕事と育児に対する知事の受け止めと、支援検討会議での意見を踏まえた取組の支援策はどのような方向性で取組んでいくのか伺う。

③4月に施行された改正社会福祉法は、介護と育児を同時に抱え、就労が困難になるなど複雑化、複合化した支援ニーズに対応するためのものと認識している。地域共生社会の実現に向けて、子ども子育てを含め県としてどのような支援を行っていくのか伺う。

知事

①本提言では、子ども関連政府支出の拡大とそれに伴う制度の充実、子育てに対する不安の軽減や困難な環境にある子どもへの支援強化が盛り込まれている。少子化を克服し、日本の子どもたちがより健全に、そして健やかに成長していけるよう、本提言を踏まえ、国においてしっかりと対応してもらいたい。

②調査により具体的な困りごとを抱えた子どもが一定数いることが明らかになり、早急に支援体制を整備し支援につなげる必要があると認識している。支援検討会議の意見を踏まえ、更なる関係機関での研修や早期発見のための広報啓発など、地域全体で見守り、支援につなげる体制の構築を早急に図っていきたくと考えている。

③制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」受け手」という関係を超えて、地域住民や多様な主体が参画していることが地域をともに創っていく必要があると認識している。市町村において自治体支援体制の整備が進むよう、事業説明会を開催し先行事例の共有や意見交換を行うなど、実現に向けて支援していく。

●紙面スペースの関係ですべての質問内容を掲載していません。新海県議会のホームページ会議録の検索と閲覧にて質問と答弁の詳細をご覧いただけます。

- 所属している主な議員連盟
- ◎保育事業振興議員連盟 ◎幼児教育を考える会 ◎障害福祉議員連盟 ◎歯科保健議員連盟 ◎薬剤師議員連盟 ◎看護対策議員連盟 ◎土地改良議員連盟 ◎森林・林業活性化促進議員連盟 ◎地域農林水産業を考える会 ◎芸術振興議員連盟 ◎商工業振興議員連盟 ◎観光産業議員連盟 ◎文化振興議員連盟 ◎他

新型コロナウイルス対策について

年明けからオミクロン株の急速な拡大により新潟県にも「まん延防止等重点措置」が適用されましたが「高止まり」傾向が続いたことから当初の予定より3週間延長されました。オミクロン株感染の症状は、若年層では無症状または軽症が多いと言われますが、感染が高齢者に広がると重症化する事例が増え、特に基礎疾患のある高齢者は要注意と言われています。大規模接種会場の設置を含めたワクチン接種率アップと社会機能の維持、仕事や暮らしを守り抜くための支援策を行政と議会が一体となって進めてまいります。

活動報告(抜粋)

県央基幹病院起工式
令和3年4月14日
(三条市)



佐渡島金山世界遺産登録推進県民会議
令和3年5月30日
(新潟市)



陳情要望活動
令和3年7月14日
(加茂市道半交差点改良)



要望事業進捗視察
令和3年7月20日
(県道出戸村松線)



部局陳情要望活動
令和3年10月14日
(政務調査会)



新潟県伝統的工芸品展視察
令和3年11月13日
(三条ものづくり学校)



忘れるな拉致県民集会
令和3年11月14日
(新潟県民会館)



県道新潟五泉間瀬線整備促進要望
令和3年11月15日
(新潟県庁)



県議団街頭活動報告
令和3年12月3日
(新潟駅前)



ご意見、ご要望をお待ちしております

ほさか裕一事務所 〒959-1371 新潟県加茂市穀町9-8 水田屋ビル
TEL:0256-46-8376 FAX:0256-46-8660 MAIL:info@hosakayuichi.com

※電話対応
月・火・木・金 9時~16時



ほさか裕一オフィシャルウェブサイト <http://hosakayuichi.com/>
議会報告、活動報告の他ご意見・お問い合わせを受付中です。



オフィシャルサイトQRコード